

生体薬物制御学講座 — 疾患薬理制御科学分野

Department of Personalized Medicine and Preventive Healthcare Sciences



研究室のビジョン

薬物治療の個別適正化と疾患予防の個別化

研究室のミッション

薬物治療と予防の個別化方法論を“ヒト”で明らかにする

主宰者は、これまで基礎研究の場(北海道大学薬学部)と臨床現場(千葉大病院)において、個別化薬物治療の研究に携わってきました。臨床現場では薬物応答性の個体差に関する遺伝的情報を活用することで、薬物治療の問題を解決できる例も経験しましたが、個体の体質を規定する生殖細胞系列変異(遺伝子多型)は、単独では効果や副作用、あるいは至適投与量といった薬物応答性を予測する精度は低く、多くの場合患者さんの背景の違いなど非遺伝的要因の影響を強く受けることを実感しました。同時に、今後は病気になって治療することよりも、発病しないよう予防することの重要性を痛感しました。

これまで臨床現場では、患者さんが対象であり、薬物治療の個別適正化のみに焦点を当ててきましたが、岡山大学で新たな研究の機会を得たのを契機に、対象を未だ発病していない方々にまで広げて、疾患予防の研究にも取り組むことにしました。本分野では、薬物治療と疾患予防の個別化に繋がる科学的根拠を創出し、社会に向けて発信していきたいと考えています。

現在の主要な研究テーマ

1. 生活習慣病発症予防のための個別化アプローチに関する臨床研究
2. リアルワールドでの各種機能性食品の有効性と応答性の個体差を明らかにする臨床試験
3. バイオマーカーを利用した抗てんかん薬の個別適正化に関する研究
4. 睡眠導入剤の血中濃度モニタリングのための簡易測定法の開発研究
5. 薬物動態制御蛋白質の発現情報に基づいたがん薬物治療の個別適正化に関する研究



有吉教授



藤吉
准教授



松本助教



OKAYAMA
UNIVERSITY

GLOBAL GATE FOR LEARNING

連絡先: 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 疾患薬理制御科学

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 基礎医学棟3F

E-mail: pmaphs@yahoo.co.jp

URL: <http://www.pharm.okayama-u.ac.jp/lab/pmaphs/index.html>